

「24年1次ベーシック答練」経済学・経済政策 訂正のご案内

教材に関して以下の誤りまたは不十分な記述がありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

■NU24096・7 24年1次ベーシック答練経済学・経済政策 問題・解説

更新日	訂正箇所	誤	正
23.10.19	P17 第20問 問題肢b	漁業資源のように消費の非競合性を有するが消費の非排除性はない財をコモンプール財という。	漁業資源のように消費の競合性を有するが消費の排除性はない財をコモンプール財という。
10.19	P11 第8問設問2	グラフが上下逆 ※別紙参照でお願いいたします	

※ 第20問は正解肢が存在しないため、**全員正解**とします。

【LEC 東京リーガルマインド コールセンター】

TEL:0570-064-464 (ナビダイヤル) 平日 9:30~20:00 土・祝 10:00~19:00 日 10:00~18:00

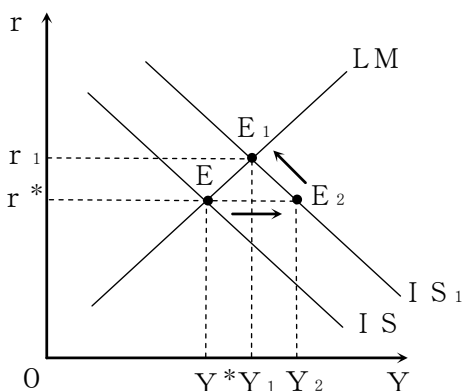


0 001421 241195

NU24119

* 通常の財政拡大政策であり、クラウディング・アウトが発生する。

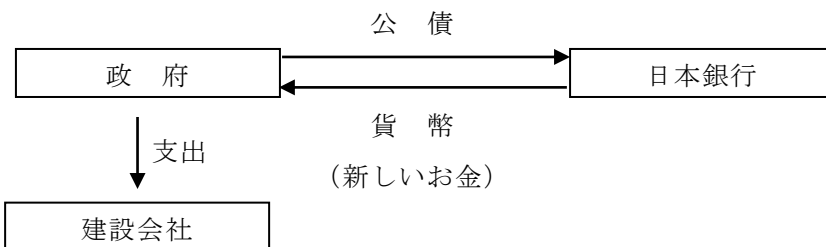
【正】



なお、クラウディング・アウトとは、政府支出の拡大により利率が上昇し、民間投資が減少するために、一部景気が後退してしまうことを意味する。

2. 中央銀行引受け

公債（国債）を中央銀行が購入することを中央銀行引受という。



* 例えば、日銀が 40 兆円分だけ公債を買う。

⇒ マネー・サプライMが増加するのでLM曲線右シフトも加わる。

⇒ 政府は、40 兆円だけ建設会社にお金を支払うので政府支出も増加する。

* 中央銀行引受の方が、市中消化と比べて利率が上昇しにくい（上昇しない）。

⇒ クラウディング・アウトが発生しにくい（発生しない）。

⇒ 非常に強い効果が発生する。

